

12月定例市議会市長記者会見

新型コロナワクチン集団接種の終了について

集団接種: 12月10日をもって終了

個別接種: 来年3月31日まで市内193医療機関で接種可能

<12月の集団接種>

2023年11月20日現在

会場	接種日	空き枠計	予約率
中国新聞備後本社ビル(東桜町)	12月2・3・9・10日	410人分	62.0%

【参考1】接種者数・接種率の推移

2023年11月12日現在

接種区分	接種者数(接種率)	接種場所の割合	
		個別	集団
1・2回目	約36.6万人(79.4%)	64.8%	35.2%(*1)
令和4年秋	約19.6万人(42.4%)	76.6%	23.4%
令和5年春(*2)	約8.1万人(17.5%)	84.3%	15.7%
令和5年秋	約7万人(15.2%)	77.7%	22.3%

*1 大規模接種会場での接種分を含む。

*2 対象者は高齢者(約13.4万人)、基礎疾患を有する人等に限る。

【参考2】集団接種実施状況

開設期間: 2021年5月22日
～2023年12月10日

開設回数: 延べ1,396回(10会場)

出務医療従事者: 約1,200人

延べ出務回数: 約8,400回

備後圏域におけるマイナンバーカードを活用した

休日保育予約システム実証試験

県内初 マイナンバーカードを活用した予約システムを導入

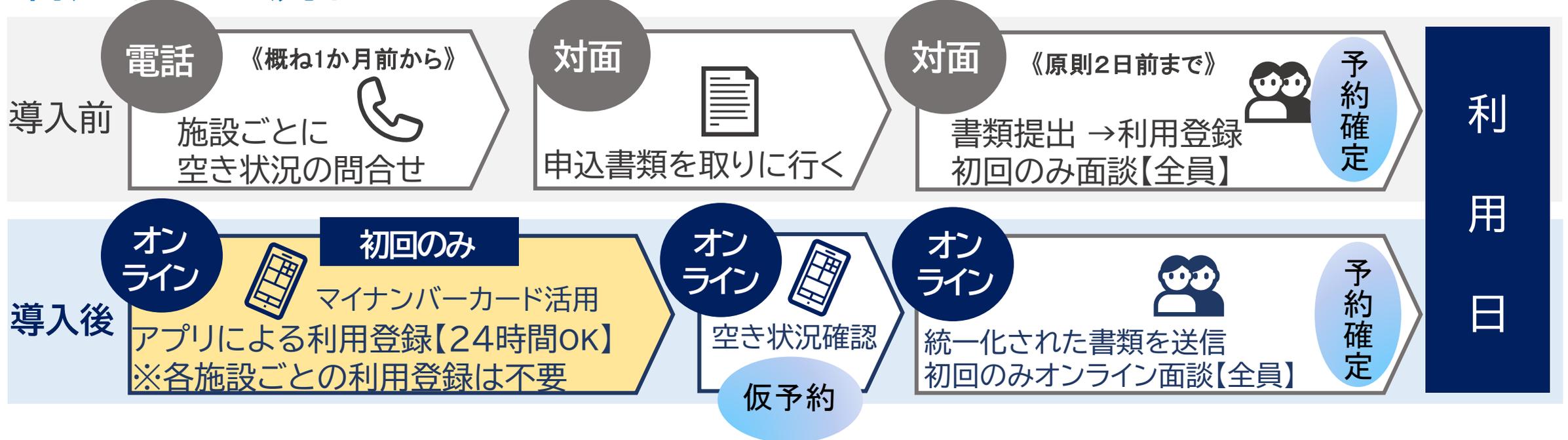
実証試験期間：2024年1月～2月（予定）

実施施設：市内4つの私立保育施設

（花園保育園，せんにしの丘，大門未来園，ゆめな）



○利用までの流れ



休日保育予約システム実証試験

○期待できる効果

保護者の利便性の向上

- ・書類提出・面談の負担を軽減
- ・施設の空き状況を一度に確認できる
- ・一度の事前登録で全施設で利用可能

保育施設における業務負担の軽減

- ・利用状況等のデータ管理で事務負担軽減
- ・来園対応や電話対応にかかる時間削減

○今後の流れ

■ 実証試験の成果により来年度以降に本格実施を検討

- ・福山市以外の備後圏域6市2町の休日保育実施施設へ拡大
- ・一時預かり等の他事業への展開検討
- ・公立施設への導入検討



“みんなで創る”世界バラ会議福山大会 市民・企業提案型事業

●採択件数 計 **103** 件

新商品の開発 **26** 件

イベント実施 **31** 件

記念作品制作 **5** 件

School Rose
Garden Project **41** 件

●今後の予定

11月30日(木) 採択通知交付式

12月以降順次 事業開始



ばらを使ったお菓子の開発



ばら×デニムの新商品の製作



ガーデンアフタヌーンティーの実施



ばらのワークショップの実施



ばらにまつわる美術展の開催

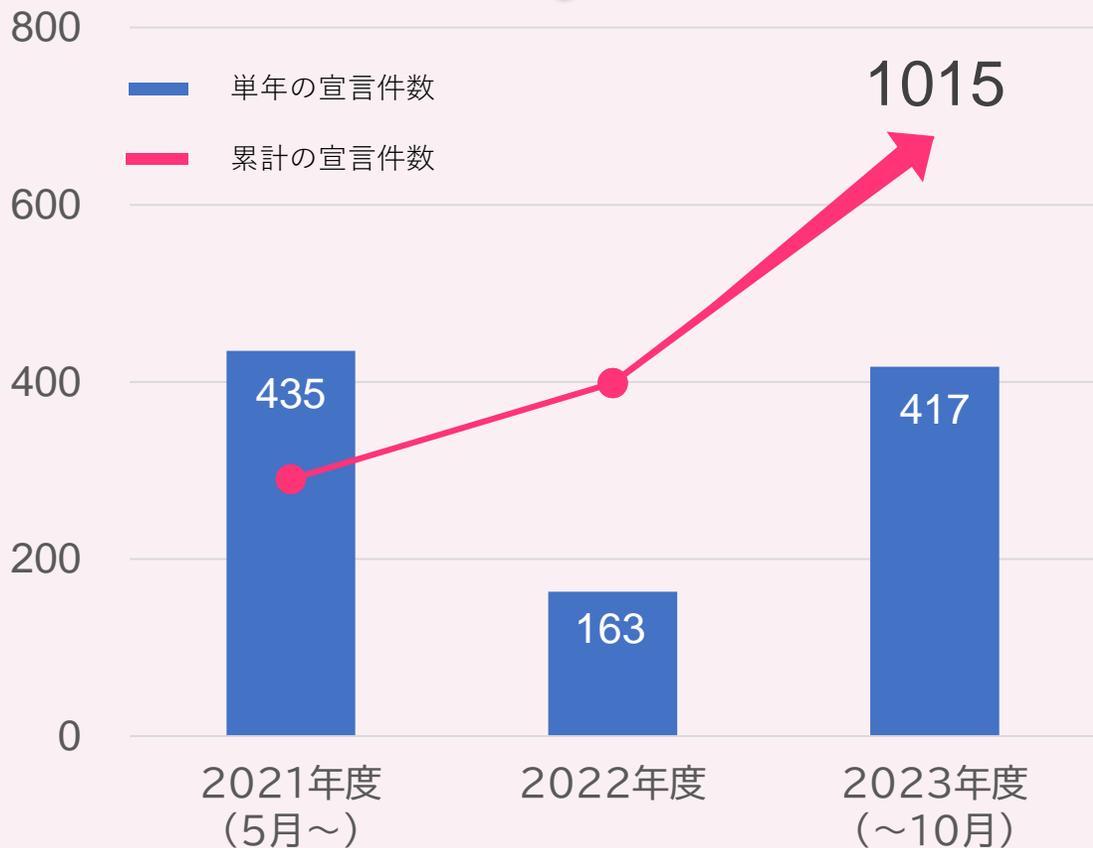


カウントダウンボードの制作

※画像は全てイメージ

“みんなで創る”世界バラ会議福山大会 市民・企業の「応援宣言」

宣言件数 1,000 件 突破



1 ばらを育てる取組



2 大会ロゴを使用するなど、大会のPR活動に協力する取組



3 ばらの花や、折ばらを使用した飾り付けなどの、おもてなしの取組



4 食用ばら、酵母、香りなどを使用した商品開発やメニューを提供する取組



5 その他、大会の機運醸成につながる取組

12月定例市議会市長記者会見

グリーンなものづくり企業プラットフォーム イメージ

取引拡大

人材の確保

技術力向上

実践内容の情報発信

企業の参画

取組例

工場のCO2
排出量削減
プロジェクト

女性が働き
やすい職場づくり
プロジェクト

男性育休
取得率向上
プロジェクト

生産性向上
プロジェクト

グループ例

環境技術G

女性・高齢者・
障がい者等の
雇用G

働きやすい
職場環境G

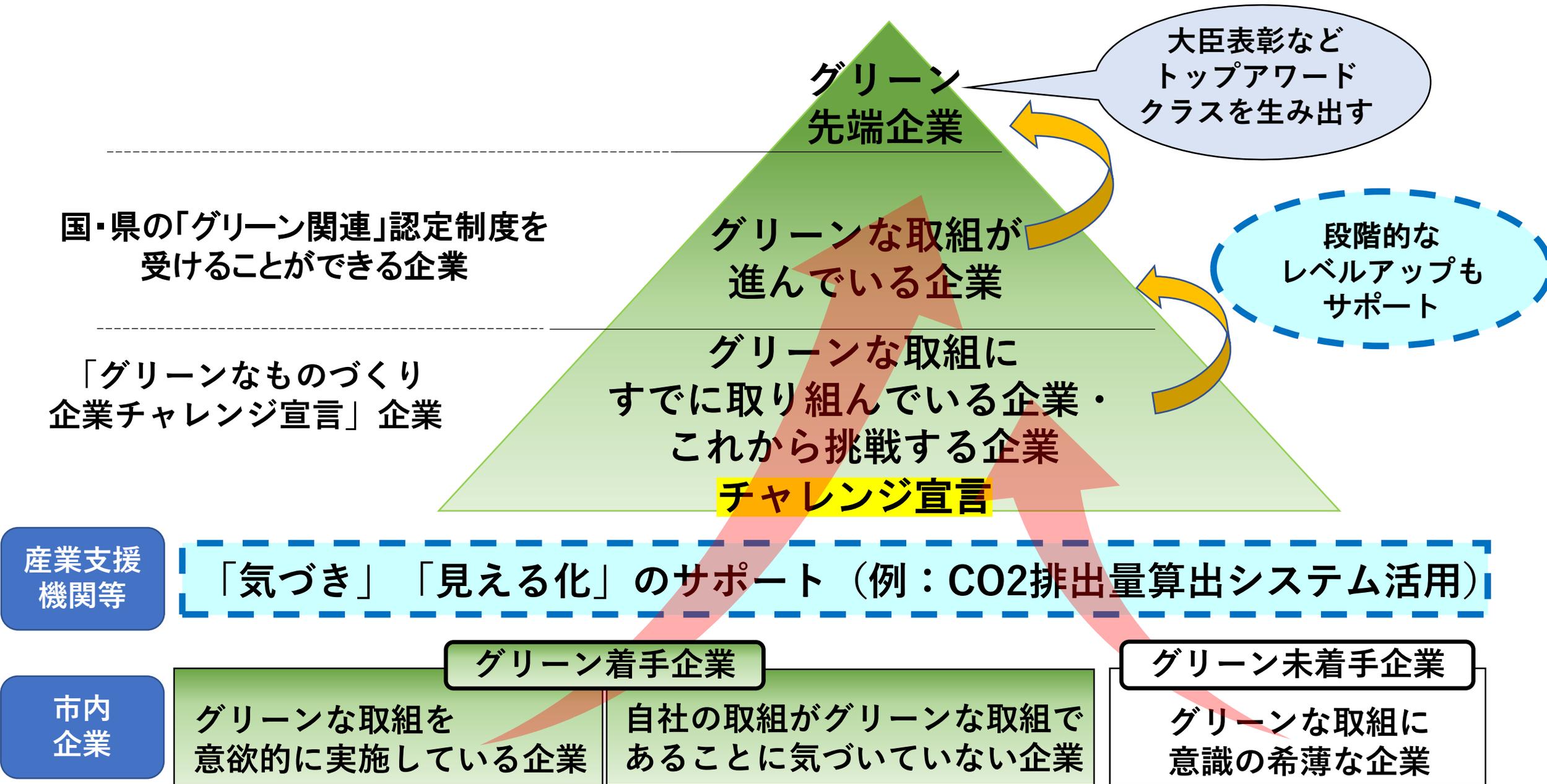
デジタル技術G

プラットフォームの機能 = 情報共有・交流や共同研究など実践の場

産業支援機関等によるサポート

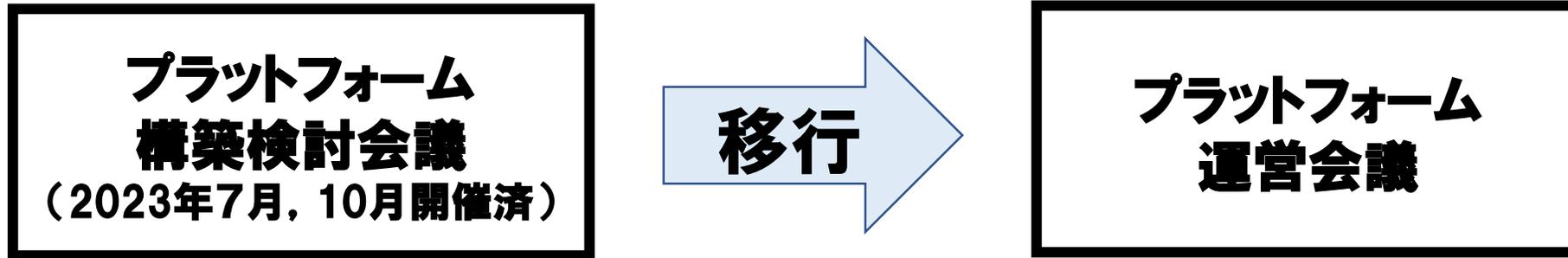
産業支援機関 ・ 金融機関 ・ 大学 ・ 行政

プラットフォームの段階別取組イメージ



プラットフォームの今後の運営

- ・ 福山商工会議所・商工会・市で事務局を運営
- ・ 「構築検討会議」から「運営会議」へ移行



- ・ 運営会議構成員：産業支援機関・金融機関・大学・先進企業・国・県・市
- ・ 先進的な取組を行う企業を中心に各分野ごとに「グループ」の組成をめざす
- ・ 2023年12月 第1回グリーンなものづくり企業プラットフォーム運営会議を開催
グリーンなものづくり企業チャレンジ宣言の募集開始
→ プラットフォームキックオフ

グリーンなものづくり企業チャレンジ宣言について

- ◆名称 グリーンなものづくり企業チャレンジ宣言

- ◆目的 ものづくり企業が、グリーンな取組を行っている、または今後行っていくことを宣言することで、「グリーンな企業」であることを対外的に発信し、認知度の向上を図る

- ◆内容 ①対象者
 - ・市内に本社又は事業所を有している製造業
 ②宣言内容
 - ・グリーンな分野において、特に注力する取組とその目標
 ③宣言者
 - ・企業の代表者または事業所の代表者

1. 官民連携による福山駅周辺再生の考え方

福山市及び備後圏域の持続的な発展

- 玄関口である福山駅周辺を市内外から人や企業を引き付ける魅力あるエリアとして再生



2018年(平成30年)3月

「福山駅前再生ビジョン」

駅周辺のめざす姿を**官民**で共有

「働く・住む・にぎわいが
一体となった福山駅前」

2020年(令和2年)3月

「福山駅周辺デザイン計画」

めざす姿の実現に向けて、
4つのエリアで**プロジェクト**を設定

- ・ 福山城周辺エリア
- ・ 伏見町周辺エリア
- ・ 三之丸町周辺エリア
- ・ 中央公園周辺エリア

行政と民間が
連携して着実に実行

2. 4つのエリアでの取組 ～官民連携で実行～

福山城周辺エリア(2020年～)

「歴史・文化資源を活用した
日常使いの憩いの場」

- ・福山城博物館の
リニューアル
- ・北口スクエアの整備



伏見町周辺エリア(2017年～)

「地域の個性が詰まった魅力発信の拠点」

- ・リノベーション
によるまちづくり



三之丸町周辺エリア(2018年～)

「職住混在のスマートで
クリエイティブなオフィス街」

- ・エフピコRiMの再生
- ・三之丸町地区の再開発



中央公園周辺エリア(2018年～)

「多様な知識や文化が融合する学びの拠点」

- ・パークPFIの導入
- ・図書館と連携した
イベント



官民が連携した
取組・活動

新たな人材がまちづくりに積極的に関わる機運

2. 三之丸町周辺エリアの取組

三之丸町地区優良建築物等整備事業

○工事の進捗状況

- ・ 北棟 75.4%
- ・ 南棟 46.0%

(2023年(令和5年)10月現在)



2024年(令和6年)3月 竣工(予定)

○商業施設のコンセプト

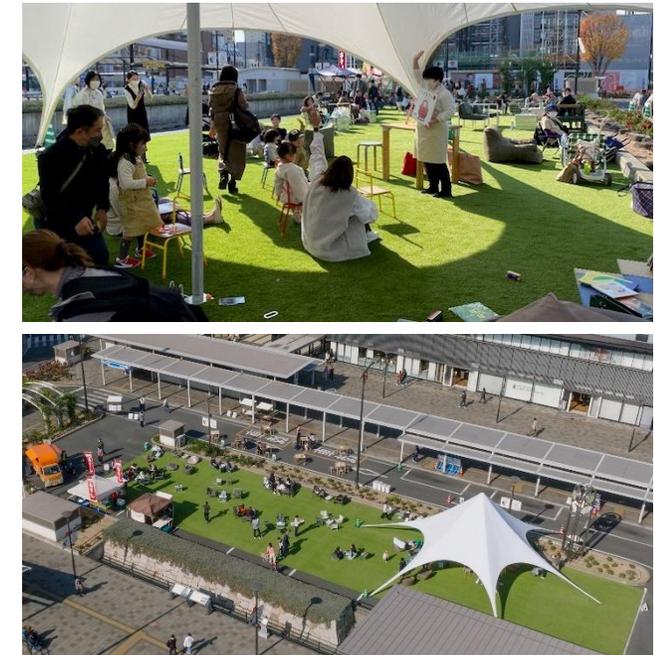
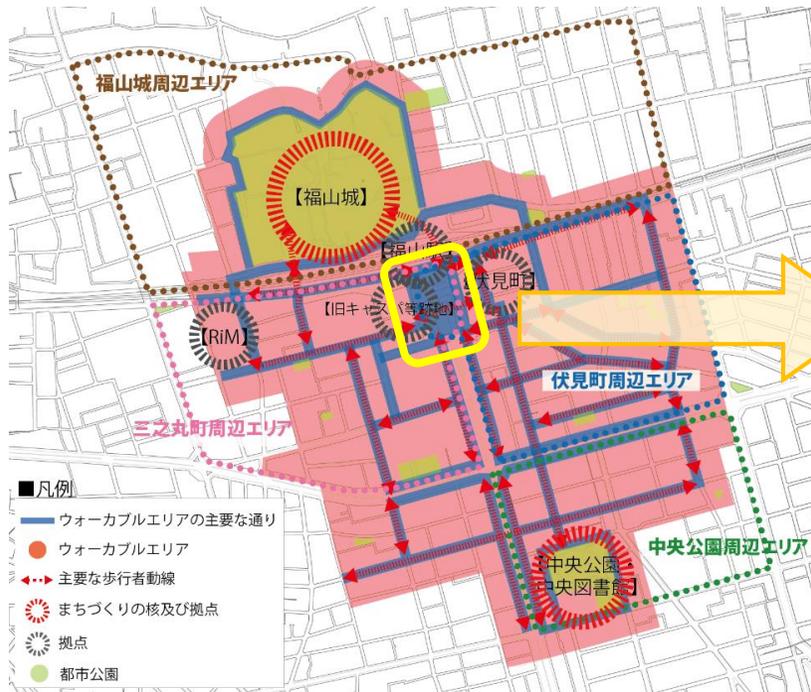
- ・ 3棟がデッキでつながった一体の施設
- ・ 周辺エリアへの回遊性, にぎわい波及
- ・ 福山ならではの価値が発信できる店舗づくり



2024年(令和6年)9月 グランドオープン(予定)

3. 今後の取組 ～福山駅前広場～

交通結節機能と都市の広場機能が融合した、駅前広場の実現
ウォーカブルエリアの核として、居心地が良く、人が集い、憩い、交流が生まれる空間を創出



駅前広場の実証実験の様子(2022年11月)

2022年度 基本方針策定
～2024年度 基本計画策定
2025年度以降 調査・設計・施工

駅前広場デザインシンポジウム

駅周辺のまちづくりに関わる
様々な主体と意見交換

11/
27(月)

駅前広場は市街地とのつながりから、
使い方だけでなく、運営・管理の仕組み
や体制づくりなどについても、官民の
多様な主体の連携が重要

(「駅まちデザインの手引き」より)